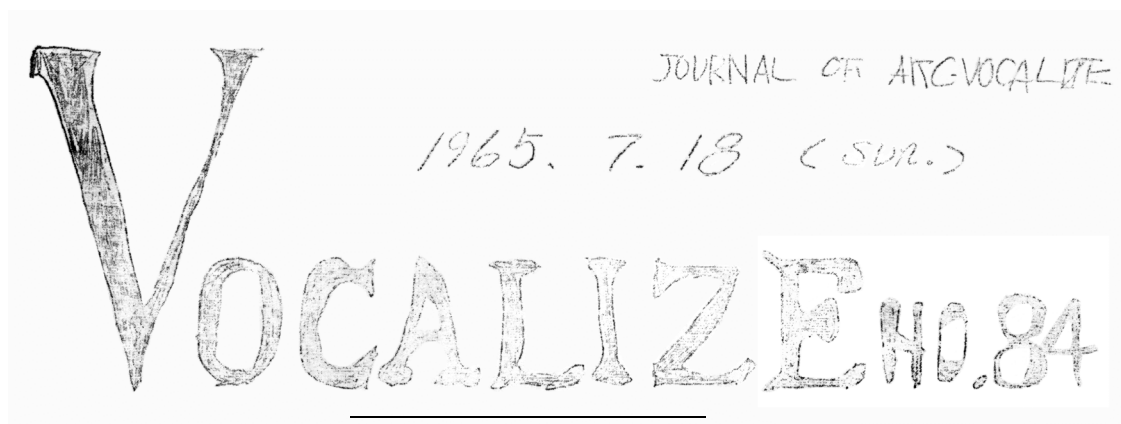




VOCALIZE No.84

・ ニュース	2
・ コーラス	3
・ 四百字コーナー (浅井幸三)	5
・ 会員インタビュー (浅井幸三)	6
・ 海水浴のお知らせ	8
・ みんなのうた	9
・ さいこうせいしよくん	10
・ プロファイル (富田香代)	11
・ プロファイル (鈴木寛)	12

九十九里浜 大見志保子

沖遙かに荒れて波立ち
水平線 日の出近くして
海鳥飛び
沖つ波 見るにはるけし
おもうこと いおえへだてて
わがなりがたし
わがなりがたし

わだつみの太平洋に
真向いて砂浜白し
九十九里なり

委員会だより

◆83号でお知らせしましたが、夏のつどいを来月8・9・10日、野間海岸で行ないます。当初の計画では、裏木曾へ行こう、ということになっていましたが、打ち合わせなどの時間に余猶がなかったので急変更らせていただきました。毎年、夏のつどいは流れていきますので今年は是非とも成功させたい、委員会ではこんな気持ちでいます。大勢の皆さんの参加をお待ちします。なお詳しくは8頁をご覧ください。

◆早速会費を収めて下さいまして有がとうございました。本来ならば領収書をさしあげるところですが、左に今までに本年度分会費を収めていただいた方の名前を記載して、これにかえますのでよろしく御了承下さい。

浅井、近藤磨、若林(五)、鈴木寛、藤井、水野俊(六)、安藤、横山(七)、永井(八)、高田、森本(十)、石黒、加藤千、高原、鈴木道、高橋洋(十二)、上田、川村、林、水野公(十三)、伊藤真、谷、平山、高木(十四)、磯貝、太田、加藤久、三輪(十五)、岡崎、小池、佐藤隆、末永、富田、中野、新沢、長谷川義、三好(十七) 小出富、津坂(十八)、朝日(十九)、岡島(十三)



この欄はAKC関係者
みんなの近況を知らせ
合うためのものです。
だれのことでも、どん
なことでも、ぜひお知
らせ下さい。

◇両ブロック委員 決まる◇

関東・関西両ブロックの委員の選挙は、
六月二十日、その投票を締切った。その
結果、次の四氏が、各ブロック委員に選
ばれた。

・関東ブロック

上田 勤 (十三)

渡瀬陽子 (十六)

・関西ブロック

松沢暢夫 (六)

中尾桂二 (七)

なお、各ブロックの開票結果は次のと
おり。

・関東ブロック 上田 (十三) 5票、

渡瀬 (十六) 2票、石井 (九)、小

出幸 (十二) 池谷、山崎 (十四)

各1票

・関西ブロック

松沢暢夫 (六) 3票、中尾桂二 (七)

2票、大津賀 (六)、高田 (十)、

渡辺義 (十二) 各1票

◇大橋佑子 (十期) さん、去る五月八日、
ご結婚。新姓清水。新居は次のとおり。
京都市右京区山田開町×××
◇水野俊彦 (六期) くん、33号でミスが
あったのであらためて新居を次におし
せします。
名古屋市緑区鳴子町×××

局番が3ケタに！

来る八月一日から、名古屋市内の電話局
番 (守山・緑を除く) が3ケタになりま
す。新しい局番は現在の局番の下に1を
つけて、たとえば、73局ならば731局、
というようになります。

◇岩崎優子 (十八期) さんは、三月をも
って一応退会された。

◇鈴木ひろみ (十七期) さん、今年度か
ら新しく入会された。鈴木さんは途中か
ら、華道部にかわられたが、本会に趣旨
に賛同されて今回の入会となったもの。
東京女子大一年生。なお住所は次のと
おり。

自宅 名古屋市中種区東山本町×××

電話×××

止宿先 東京都渋谷区富ヶ谷×××

AKCニュース

◆恒例のNHK学生音楽コンク
ール合唱部門名古屋地区予選は、
七月十八日、CKホールで行な
われた。AKCは、37年度以来
3度目の参加であるが、年々実
力をつけ、今年は堂々3位にな
った。部長である浅川俊朗君 (十
八期) は、「まあぶんな線はいつていた
と思う」と語っているが、今後の活躍が
期待される。

なお、1位は、名古屋北高校、2位、
金城高校 だった。1位の名古屋北高校
は県大会に出場する。

*コンクール参加曲は、

課題曲 郷愁

随意曲 組曲「旅」より「かごのつて」

*指揮 齊藤正雄 (十八期)

伴奏 加藤あつ子 (十八期)

◆AKCでは、例によって夏期特別練習
を行なう。今回の練習では、おもに十月
の文化祭に出す曲を中心にするもので、
民謡・宗教曲・黒人霊歌などを中心にし
た混声と、男声・女声など行なう予定で
ある。

なお、決定している練習日は七月二十
一、二十三日および三十、三十一日であ
る。

Chorus



6月上旬～下旬分

横山二三子(七)

最近はおっぱら花壇の手入れにはげんでいます。なかなか上手にできませんが、相手が花ではおこったりしなくてすみま

すし気分爽快です。

毎日家にとじこもって赤字の心配しているよりは健康的だと思いますが、いかがかしら？すこしぬかみそくさくなった主婦。

加藤久美子(十五)

自動車の免許もあと県の試験場で行なう学科試験だけになりました。でもこのごろは、よく人をひいたり、大きな車とぶつかる夢を見ます。どういう訳か、私なんか、たった四十教程受けたただけで学校を追い出されるハメになったたのが悪かったらしいです。

話は変わりますが、ヴォーカライズの人達のタマリ場ができたなら素敵ですね。期待しています

松沢暢夫(六)

又、夏が来ました。真黒になる季節です。もうトシなので山に登る元気がなく、去年から海に切りかえました。今年も又、海にテントをはるつもりです。まだ六月というのにもうマックスです。この調子で行くと八月頃にはインドネシアからおむかえがくるかもしれません。

上田 勤(十三)

5年ぶりに人間らしい生活を送っている毎日です。エンジニアのひよことして、目下電子計算機のプログラムを勉強しております。本職は電話交換機的设计です。東京では、もっぱら客席で合唱を楽しんでおります。これから暑い夏を迎えるに当たり、健康に注意して日本の産業界発展の為に頑張ろうと思っております(キザなやつ！)。

足立靖子(十五)

大学も後半ともなれば寮では古ダヌキの部類、室では個性の強い子ばかり二人もかかえて・・・室長の役目も楽じゃない。

しかし織りはとっても楽しいですよ。今ちようど緋と毛紬をやってます。羊の毛のかりとった姿のままのを求め、それ

を洗い、染め紬ぎ糸にして織る。かりとったばかりの羊の毛にはナットウ(糞のこと)から、草から、時には皮やじやがいもまで入っているしまつ。それを洗うときの何ともいいがたい臭い。

音楽から遠くはなれてしまったけど、いつかまた美しく織りとった布や、紅型などでそめた布を皆さんにみていただくつもり。そのときはよろしくね。

高田靖子(十)

おかげさまで無事暮しております。

「子供の特性を生かすほんとうのしつけ」などという活字を前に頭を痛めております。頼りない限りです。よい知恵をおさづけ下さいませんか。

谷 美保子(十四)

先号の時も、オケで忙しいと書いたようですが、又、現在の忙しさと言ったらありません。九大フィルの定演、九大の学園祭、九響のサマーコンサートと、毎日、夜、出かけて行つて練習です。年中、オケに追いかけれ、でも、うれしい悲鳴をあげております。

名古屋へもぜひ分行きませんで、ナツカシクたまりません。何とか行く方法はナイものかしら・・・。

磯貝文江(十五) 近況…毎日四才児を相手に暮しています。予定…六月にポーナスをもらい、七月二十一日より夏休みになります。宣伝…第二幼稚園はとってもいい幼稚園ですよ。その理由は私がいいますもの。	三好和憲(十七) 近況…勉強時間が高校3年の時の6倍の3時間になったため、睡眠時間が減りキビシイ毎日である。予定…七月十五日に帰名する。宣伝…在校生の諸君は、ぜひ東大へ。メンドウみるヨ。演説…なし。その他…イヒヒヒヒ 近藤磨理子(五) ・兎角毎日いそがしいです。 ・一日が三十時間あったらと思ってます。 小池扶甫(十七) このところ七月三日にエール大学グリークラブの名古屋公演への賛助と七月十一日に東京の厚生年金ホールで四国立工業大学の定期演奏会とスケジュールがこんでいて、とても毎日の練習がたいへん。	その結果に是非御期待あれ! 山田京子(九) ・出産一ヶ月前、やっと動いている状態。 ・母親になるのは大変です。 藤井容子(六) etc. コーラス欄いつも興味深く読んでいますが、(ジュウナン期)などと書いてみると、フーン、わたしより十年も若いんだナア。ヘーエ、わたしたちが旭丘で音楽部でさわいでいた頃、小学校の一年生だった子供がねエ、仲間に入ってきてねエ…なんて思っている頃、その連中は、ヘーエ、「六期」ずい分オバチャン(?)なんだなあ、と思っているだろう。何だかイヤなつちやうけど仕方ないすねエ。時は流れるんですから。五・六期の同志よ! いつまでも若く元気でガンバリ。 永井 充(八) 六月六日、日曜日。スキーでの骨折もよくなり今年のはじめての野球試合。国体予選もかねていたため、緊張! 大平住宅チームを一对〇の完封。被安打一、三塁をふませずの好投!
岡崎美彦(十七) 六月六日、宇治田原にて化石採集。ゴツウシンドかった。 ・予定 六月二十六日、DGK(大学合唱協会)の東京演奏会。これにそなえて十九・二十にちの両日合宿。(この他に七月上旬、中旬、合宿が二・三コある) 七月十・十一日、津へ。施設の訪問、等々。多忙。 ・近況 授業をさぼる事を覚えた。今日、午後から出席したら休講。メシを食べて帰った。 藤野 絢(十二) 六月二十三日から二十六日まで大阪行き。 毎日、仕立物に取りついていきます。先日、久々に修道院へ仏会話に行きましたがサッパリ通じなくて実にガツカリしました。英語も分らない、仏語も分らない! あちらへ行ったらどうなる事か、心配で心配で…。	六月六日、宇治田原にて化石採集。ゴツウシンドかった。 ・予定 六月二十六日、DGK(大学合唱協会)の東京演奏会。これにそなえて十九・二十にちの両日合宿。(この他に七月上旬、中旬、合宿が二・三コある) 七月十・十一日、津へ。施設の訪問、等々。多忙。 ・近況 授業をさぼる事を覚えた。今日、午後から出席したら休講。メシを食べて帰った。 藤野 絢(十二) 六月二十三日から二十六日まで大阪行き。 毎日、仕立物に取りついていきます。先日、久々に修道院へ仏会話に行きましたがサッパリ通じなくて実にガツカリしました。英語も分らない、仏語も分らない! あちらへ行ったらどうなる事か、心配で心配で…。	岡崎美彦(十七) 六月六日、宇治田原にて化石採集。ゴツウシンドかった。 ・予定 六月二十六日、DGK(大学合唱協会)の東京演奏会。これにそなえて十九・二十にちの両日合宿。(この他に七月上旬、中旬、合宿が二・三コある) 七月十・十一日、津へ。施設の訪問、等々。多忙。 ・近況 授業をさぼる事を覚えた。今日、午後から出席したら休講。メシを食べて帰った。 藤野 絢(十二) 六月二十三日から二十六日まで大阪行き。 毎日、仕立物に取りついていきます。先日、久々に修道院へ仏会話に行きましたがサッパリ通じなくて実にガツカリしました。英語も分らない、仏語も分らない! あちらへ行ったらどうなる事か、心配で心配で…。

清水佑子(十)

「近況」去る五月八日に結婚しました。目下主婦業に専念中ですが、そのうち何か他に職業をもちたいと考えております。

「宣伝」京都の苔寺より徒歩約五分のところに小さな家を持ちました。ピクニックがてらは是非お立ち寄り下さい。

渡瀬陽子(十六)

・元気に頑張っています。
・もうじき夏休み。家へ帰るのが待ち遠で待ち遠で……。うんと甘えて来るつもりです。

浅井幸三(五)

・通り魔偽装事件、子どもの交通事故、火事：そのたびに大あわてしながらも、日ごろは毎晩飲み回っています。どうせひとりなんです。これでも文句をいう人はいないし、いまさらカッコウよくみせようとも思いませんので。予定など立てようもない毎日です。本社や一宮支局から「来週の記事の予定を送れ」といわれても、その日その日の記事をつくりだすのに精いっぱい。そんな未来のことなど想像だにできない。

いのです。

新沢 宏(十七)

名大混声合唱団に入りました。パートはトッポテナー。

安田軍二(十三)

今年の夏は涼しいですネ。夏は暑くなつてくれないと困ります。(本当は涼しい方がいいのだけれど……商売上はネ)
八月中旬までは日立チェーンストール、つまり販売店にいます。毎日毎日冷蔵庫やルームクーラーなんかをかついでいます。アパートの四階というのは全くまいってしまいますよ。皆さん、あんまり高い所へ住まないようにしてください。
十月からは東京へ行きます。十一月中旬頃から栃木、それから常陸多賀、それから又東京へ……という調子です。名古屋へ帰れるといいのですが、恐らくは東京か大阪位になるでしょう。

マリア・カラス讃

浅井幸三(五)

瀬戸へ来てから、レコードをきく時間などほとんどないのに、それでも少しずつレコードがふえていくのだから、われながらあきれている。それもオペラ全曲やアリア集、ナポリ民謡といったぐいばかり。その昔、レコード収集を始めたらベートーベンの曲をまず、と思っていたのからみると、まるで方向違いの集め方になってしまった。

その中でもとくにマリア・カラスを愛聴している。レコード屋が気をきかして残しておいてくれるほどだ。「カルメン」全曲盤が二組になったのもカラスのせいなら、珍しくモノのオペラ全曲盤「トゥーランドット」を買ったのもカラスのためだ。まったくカラス、カラスの毎日で、私に関するかぎりには、「カラスの鳴かない日は絶対はない」といつてもいい。「ノルマ」「メデア」の全曲や「フランスオペラアリア集」は、そのカラスの神髄を端的に示すものであるばかりか、わたしを魅了してやまないレコードである。

会員インタビュー ⑧

浅井幸三君(五期)に きく

仕事、ヴォーカライズ、結婚のことなど

今年はいよいよヴォーカライズ十周年を迎える。そこで、ヴォーカライズの創始者である浅井さんをインタビューすることにした。

瀬戸へ転勤以来、浅井さんをつかまえることはむづかしく、社へ電話すれば取材中といわれ、下宿へ電話すれば、帰宅は夜八時過ぎといわれる。そこで、子のインタビューは深夜の電話インタビューとなった。日頃は深夜ともなれば酔眼もろうとし、何をしているのかよくわからない状態らしい(?)のだが、この夜はまったくマジメ。安心して読み下さい。(少しアルコールが入っていた方が、いろいろ聞き出せたのかもしれないが……)

浅井幸三くん(五)

ヴォーカライズ最長老の昭和九年七月三十日生まれ。あずま中学から旭丘へ入学し、二年になってからAKC部員、会計となる。衆議院速記者養成所を経て三十年一月中日東京総

局入り、同年五月本社速記部勤務、さらに三十九年八月速記を離れて瀬戸支局記者になった。ヴォーカライズの命名者であり創立メンバーのひとり、三十一年から連続六期会長として会務、編集に奔走した。

きき手Ⅱ伊藤 真知子(十四)
記事Ⅱ浅井 幸三(五)

「とぼとぼ歩き」から「飲み歩き」へ

Ⅰ瀬戸支局勤務になってもう一年ですね。すっかり記者ぶりも板についたでしょう？

浅井 ぼく自身は、あまり「らしく」ないと思う。だって、自転車にもオートバイにも乗れない地方記者なんて、まず落第だね。それでもどうにかこうにか一年勤まってしまうって、特ダネを書いたこともなければ、特オチしたこともなくてすんでしまった。これでいいのかなと毎日考えてしまうけど、転勤辞令が出ない

ところを、みると本社でもあきらめているんじゃないかな。

Ⅰ仕事のうえで、何か面白い話はありませんか。

浅井 おもしろくなんてあろうはずがないよ。だいたい、「中日」は地方版がに面もある。そのうち「尾張B版」は瀬戸、春日井、小牧の四人で担当しているから、毎日四人で一面埋めるわけなんだ。口では簡単だが、何もないところにいて、何かネタを捜すのはみんなが考える以上にたいへんだ。事件記者とか政治記者とかいった担当が決まっている記者とは根本的に違うし、「朝日」「毎日」という地方版一面の社ともつき合いきれないのが悩みだね。

Ⅰ変った話というのは、そうするとめぐり合わないわけ？

浅井 そうとはいわないよ。ぼくは、どっちかという話もあり、しないし一つごとに食いがたつて記事を書くことも性格的に合わないんでね。だから新聞記者には珍しいタイプだとか、めったにおこらない記者とかいう評判がある。でも、この前、ある家でガレージの門が倒れて子どもが下敷になって死ぬ事故があった。警察より先にぼくが現場へ飛んでいた。そうしたら、そこがある会社の重役の自宅で、社員とか親類が出てきて

絶対に家の中に入れない。そのあげくが「警察署長と警察医に頼んで新聞ざたにしないことになっている。こんな事故よりほかに書くことがあるだろう」なんていうんだ。いささか腹が立ってね、「何を書こうという世話だ。これからその二人にかけあって文句をいってやる」と引き揚げてきてしまった。あとになって、社長や総務課長があまりにきたけどさ、よその社の連中が「浅井君らしくなく、すぐおこったそうじゃないか」と冷やかすこと。しばらくは評判がおさまらなかったよ。

― ずいぶんアルコールに強くなったそうですね。

浅井 なんとなく毎日飲むようになってしまった。ぼくは黙って飲んでるタチなので、バーなんか行ったところで女の子からみると扱いにくい客なんだろうけどさ、しかたがない。かえって、おとなしくってやりやすいかもしれないけど。

― どのくらい飲むんです？

浅井 量はたいしたことはないと思っ
ては思っている。ぼくは飲んで酔いが回
ってくる居眠りするくせがあるんだね。
だからいっしょに飲んでいて眠りだした
ら酔っている証拠……みんな心得てい
送ってくれるよ。でも、だれと飲んで
つき合えるとは思っている。相手によっ

てペースを調整できるようになったから。それだけ強くなったのかもしれない。まあ記者クラブではNHK、朝日、中日の三人が一番よく飲むとみんなにいわれているから、だいたい飲むには飲むんだね。

「やつと会員の心理がわかった」

― ことしはヴォーカライズの十周年なんです。創立以来の会員として、また長く会長をしていて感慨深いものがあるでしょう。

浅井 もう十年になるんだね。ひところ自分の生活の大半がヴォーカライズで占められていたことがあったけど、その当時からみると、無責任かもしれないが、あまりこだわらなくなったね。人間ってこういうものかな。

― 十年間の思い出は？

浅井 たったひとりでわめいたり、おこったり、がっかりしたり、そしてささいなことでも喜んでいたり、ころが忘れない。よく続けられた。みんなに励まされ、逆に失望させられて、いいことは長く続かなかつた。そんなとき、会員のおかあさんに会ったりすると「浅井さんよくやってみえますね。これからも気落ちせず続けてください」といわれてね、正直いってうれしくて泣きそうになったこともある。ぼくって案外泣き虫なんだな。

だ。

― この機会にとくにいいことは？

浅井 こんなことをいうと委員の人に申しわけないが、平会員って気楽だね。いまになってやつと会員の心理がわかった。だから、逆にいえば、会員は委員の仕事なんか理解できっこないんだ。それを少しでもお互いの気持を知り、助け合えるように努めること。それさえできれば、何年も何十年もつぱに続けることができるし、いい会になると思う。自慢話ではなくきいてほしいんだけどね。ぼくは長く続けた会長の仕事が決してむだではなかったと思っている。もちろん、ぼく自身のためにもそうだし、執着する男がいたから十年間どうにか続いたのだとね。― 十周年記念の行事について、いい企画を出してください。

浅井 悪いけど、いまはもう何もできないし、考えられない。もう少しファイトがある時代だったら、アイディアどころか自分で突っ走っているよ。でも、ぼくに割り当てられた十周年記念号「Vocalize」だけはなんとか格好をつけた
いと思っている。とにかく時間がほしい。
そしていい助手が。

「一度のつまずきは大きな打撃」

「浅井さん、ことしの夢のプランに結婚ってあったでしょう。ほんとうですか。年からいつてももうその時期でしょう。」

浅井 そう思ったこともまったくないとはいわないよ。でもだめだね。やつぱり独身でいるほうが。いいらしい

「何度目かの初恋、そして失恋というのは浅井さんの直伝だって、ある人がいつてたけど、その話をしてください。」

浅井 おとなをからかうのはやめましょう（笑い）。あなたはぼくのノートを読んだことがあるし、ぼくの相談相手にもなってもらったこともあるから知ってるでしょう。

「いつも他人の話ばかり引つ張り出しているのに、一つぐらいいわなきやいけないわ。罪ほろぼしのつもりで……。」

浅井 告白的自伝ってやつかね。あまりピンとこないな。ぼくは決して独身主義じゃなかったし、いまもそうではないこの人となら結婚してもいい、いや結婚したいという女性もいるにはいたんだ。それがあある事情「ほとんどぼく自身の落ち度のためだけ」でうまく行かなくなつてね。どうもこれ以上の進展は望めそうにない情勢になつてしまった。だから、いまのところ、それ以外の女性とは結婚

する気がないので、独身生活が続くという見通しなんだ。もつともヴォーカライズの女性で立候補してくれる人があつたら、考え直すかもしれないけど……



取材に忙しい浅井幸三くん
瀬戸市内で、撮影者 永井 充

「いつももうまいこといつて逃げる。そんなこといつてるから、なかなか奥さんが見つからないのよ。」

浅井 ほんとうだね。ぼくもそう思ってるよ。だけどさ、人間って何事でもふんぎりが肝心なんだ。そのチャンス逃がしてしまったから、当分しかたがないだから毎日やけ酒を飲むんだといいたいかもしれないけど、そんなつもりもないただ、毎日ぐつすりやすみたい。神経質な男にとって、一度のつまずきはやはり大きな打撃だね。ぼくもやつとそれがわ

かった。もう三十一にもなつちやつてだらしがないよ、まったく。

「あきれてものもいえないわ。」

浅井 そうでしょう。だから、この辺でかんべんしてもらおうよ。そのうちいい話をするからね。

◆夏期つどいのお知らせ◆

うつつうしい梅雨もあけ、若人のきせつがやつて来ました。例によって海水浴に行こうということになりました。多数の皆さんの参加をお待ちします。

記

とき 八月八・九・十日（日・月・火）
ばしょ 野間 紅葉屋旅館

よさん 二五〇〇円程度

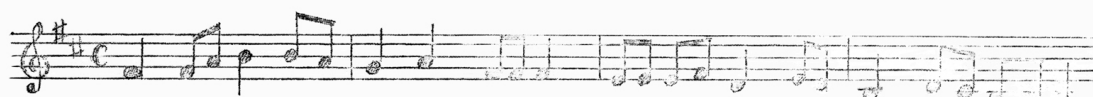
◆なお、参加者によつて詳しいことを決定したいと思いますので、参加される方は左記へ至急御連絡下さいますようお願いいたします。

昼間 94-××× 永井抱陽写真館
夜間 97-××× 永井宅

みんなのうた

すてきな娘さん

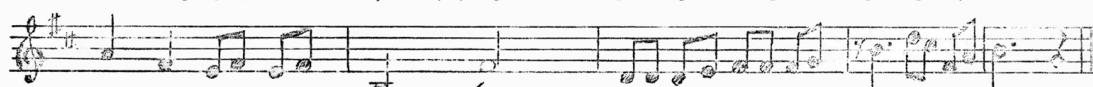
北海道姫小松合唱団



1. おいらのす き な む す めさん はたらくわ かい む すー めさん
 2. おいらのす き な む す めさん はたらくわ かい む すー めさん
 3. おいらといっしょに む す めさん めさん めさん めさん



みらいをみつめて かがやくような そ のま なー ざ し が
 おけしょうしな いが リンゴの ような そ のよ なー ざ し が
 こーころひと つに うで く み あつて そ よ ろこ び か な し み



う つ くー しー いー ー は な さ く の は ら で お どろー よ
 う つ くー しー いー ー つ き さ く の な ん ぎ と め た らー よ
 い つ の ひー も ー し あ わ せ も と め た らー よ

すてきな娘さん

一、

おいらのすきなむすめさん
 はたらくわかいむすめさん
 みらいをみつめてかがやくような
 そのまなざしがうつくしい
 はなさくのはらでおどろうよ

二、

おいらのすきなむすめさん
 はたらくわかいむすめさん
 おけしょうしな いがリンゴのような
 そのよこがおがうつくしい
 つきよのなぎさでかたろうよ

三、

おいらといっしょにむすめさん
 めねもとときめくむすめさん
 こころひとつにうでくみあつて
 よろこびかなしみいつのひも
 しあわせもとめてうたおうよ



ざいこうせいしよくん

◆二人の若様と一人のお姫さま

Bas	Sop	Alt	Tn
山本 一良くん (十九)	和気もと子さん (十九)	片山真知子さん (十九)	英比 勝正くん (十九)

英比 勝正くん

テナーのパートリーダー。セカンドテナーの彼の発音はすなおで快い。からだは特に大きくないが、精悍な顔立ちで、ファイトのかたまりのような人である。しかし態度はいつもおだやかで明るい。彼の家は古くから大庄屋で、姓のいわれははっきりと分らぬが、明治時代、田辺城主の英比丸という人からいただいたのだそうだ。彼は十八代目ということである。

非常にまじめで、知多郡の阿久比町から片道一時間半かかって通学しているにもかかわらず、毎朝クラブの中では一番早く登校し、始業までの時間は小沢征爾の本を読んだり、部室の例のピアノで「乙女の祈り」を弾き、つい最近クラブ内ではやりだしたギターもならず。「禁じられた遊び」のサワリの部分をわずかな時間でマスターした。部室の美化や合唱練習

も熱心で、全クラブ員に信頼されている。彼に影響されてか、テナー十二人の練習中の態度やまとまりはすこぶる良く、となりのベースのよい手本である。近頃は混声合唱の他に特に男声合唱に意欲をもやしている。

片山真知子さん

かたやま ちこ

アルト。最低音はGis、ひらがなの。へたなおとこの子は顔負けではないか。やわらかいおっとりとしたその声が、年中「サイクルさげろ」と、どなられている私には、うらやましくてならない。

とはいえ、みんなにどうしても頼まれてパートリーダーにさせられてしまった、というようにいきさつでもわかる彼女の人望は、そんなすてきな声と、音楽一家の中で育まれた深い音楽的知識のみによつて集まったのではない。聡明で、しつかりした考え方をもち、親身に相談に乗ってくれて、お掃除熱心で……。が、こんな私の言葉から、変に才気走った女史タイプや、しんねりぐずぐずした女の子を想像されてはこまる。AKC随一のスポーツウーマンの彼女は、先日のクラブ対抗バレーでも、赤いヘアバンドもきりりと、一人で六・七点をあげている。AKCの中で爽やかに。きらめいてる、そんな人だ。

和気 こと

和気もと子さん
ボーイソプラノのミスター・ワケを紹介します。千種台中学出身、旧一〇九、現在二一で、ソプラノのパートリーダーです。



左から 山本くん、和気さん、
片山さん、英比くん。
旭丘高校 4 階音楽室にて、

ミスター・ワケのいるところは、必ず楽しい歌声が聞こえます。女声、男声、混声、なんでもござれ。パートはソプラノでも、男声合唱のときは実音でセカンド・テナーまで出せるので、メールボイスを出せないのが残念だそうです。練習の時には、ミスター・ワケがいれば、ソプラノは十人くらいふえたよう。四月からのソプラノの上達ぶりにはめざましいものがありますが、これも和気さんのすばらしい人格と技術と統率力のおかげで

しよう。

和気さんは、男性的な面と女性的な面と相対する二つの性格を合わせ持つて、その二つの性格をごく自然にうまく調和させ、機知にとみ、見ていると、まるで清少納言が生まれかわったようです。

やまもと いちろう 注35号でルビ訂正

ー山本 一良くんー

クラブの練習が終った後、ひとりで熱心に発声の指導を受けている。パートリーダーという重荷も加わってか山本君は大変熱心だ。彼の特徴をあげてみよう。まず一見してわかる、ことはマジメそのものの顔付をしていることで、体格もベースのパートリーダーらしい。が、いがいにからだは弱く、時にはクラブの練習にでられないこともある。中学(学大岡崎附中)時代はスポーツも得意で、からだも今ほど弱くはなかったそうだが、この原因は遠く安城から通っているせいもあるからなのだろう。

彼はピアノがうまい。「月光」の第三章などはよく聞かせてくれる曲の一つで、最近ではベートーベンのピアノ「第三番」の一部を連弾用に編曲して友達と例の古いピアノでひいて我々を楽しませてくれる。とにかく彼が誠実だということは彼に会ったことのある人のだれもが否定できないことであろう。

プロフィール

とみたかよ

富田香代(十七期)さん

とにかく、しっかりとした人物です。

彼女は十七期でただひとりのアルトでした。この十七期は、女性が非常に少なく、たったの四人でしたが、このクラブの女声部を守りぬきました。我々がまさに二年になるうとしていたとき、AKCでは女性不足のため「男声合唱」のクラブにしようかという意見も出ましたが、その時の彼女の言葉……「たとえAKCが男声合唱クラブになっても、私はこのクラブをやめないわよ。」

AKCの第一回演奏会(編集部註三十九年二月二日、中区役所ホール)では全員合唱「雪の降る町を」の歌唱指導を堂々とやってのけたし、第十五回学校祭では、女声合唱の指揮をして、女性をうまくリードしてすばらしい合唱をつくりあげました。AKCでは、副部長をつとめたけれど、出席率はすばらしくよくて、我輩は、彼女が欠席したという記憶をもっていない。また、音程の正確さには定評があり、人数が少ないにもかかわらず指揮者を安心させていました

彼女から受ける感じは、「やさしい」と

いうことばがピタリあてはまるけれど、自分の意見は率直に述べます。ミーティングのときなど、にこにこして人の意見を聞いていて、肝心なところになるとズバリ質問や意見を出すところなど、たいしたものでした。

我輩もよくAKCに顔を出しますが、彼女もAKCが恋しいのであるうか、よく訪れるそうです。このあいだの5月4日にも、AKCのレクリエーション部隊を十七期の侍達といっしょに牧野池で待ち伏せしました。他の十七期生と同様彼女も歌にとりつかれていて、現在金城短大(35号で金城大学に訂正)聖歌隊でガンバッテいます。

彼女に会うたびに「ますますきれいになったなあ」と感じるのは我輩だけでしょうか。香代さんが、今後ますますあらゆる方面に活躍されることを祈って筆をおきます。

(N・H)



プロフィール

「鈴木貿易」新築四階のビルはすぐ目にとまった。十年ぶりに会う顔と声とても若々しい。「若者よ、大きな夢を見よ。そして実現させよ！」身体全体からにじみ出てくる言葉のようだ。久しぶりに、楽しい話し相手が見つかった。「今の仕事は建築材料の輸出を独立してやっています。」「ここから痛快な旅行談が始まります。」メキシカンハットの現地人との記念写真、ピストル腰の一人旅、話す言葉は英語とスペイン語。「手の指のタコは空手ですか、やっぱり護身術？」「いや柔道を少し。ピストルなんかぜんぜん当らないし、ただ気やすめですよ。」

私はテレビの探偵ものを連想した。AKCでは唯一の国際人。南米に土地を持ち、工場を作る予定とか。九月再度の渡航の前に、若さにまかせたものすごい忙しさのよう。行先は、アメリカ、メキシコ、サルバドル、コスタリカ、エクアドル、アルバ、パナマ（こんな国知っていますか。命は一つじゃ足りないかも知れないそうです。そんな生活の中で、熱心なクリスチャンではありませんが、と前置きしながら、布池カソリック教会合唱団の最初の指揮をとり、二部から、やつと三部合唱ができるようになったと喜んでいました。AKC、南山メールクワ

イアOBとしての関係も遠のくにつけて、これだけは残しておきたいと、男声が見えないからどうかなどとPRをツツねない。「グレゴリアン」はすばらしいと「静の世界」。

「若いうちに努力して実行したい」とファイト満々の鈴木さんが現在あるのも大学時代、家族と共に苦境を乗りきった地力にささえられているとのこと。スポーツの愛好家でもあり、山や旅行の写真などカメラの腕もたいしたもの。奥さんは旭丘八期夏目加代子さん。十五ヶ月のお嬢さん一人。卒業後AKC関係では、教会で安田さんに会うぐらいだそうです。

先輩 鈴木 寛 (6期) くん
すず き ひろし



Invention

◆暑中お見舞い申し上げます。お元気ですか。また発行が送れちゃってどうもすみません。

◆今月は写真が三枚あります。プロフィールが二枚、さいこうせいしよくんが一枚です。なお、インタビューの写真はつごうで次号に同封します。

◆久しぶりに上の方の人のプロフィールができました。これを機会に上の方をジャンジャンやることにしますのでよろしく退会される方が続いて出ましたが、新しく仲間ができました。現在の会員数九十九名です。鈴木寛さんのプロフィールのせいではありませんが、ヴォーカライズにも「鈴木」がずいぶん多くなりましたね。昨年暮のつどいにも、「本物の鈴木」「にせものの鈴木」などとややこしかったけれど、一度「ヴォーカライズ鈴木会」でもやりますか。

◆この頃、機械をかついで外に出てますが、どこかでヴォーカライズの誰かに会えそうな気がしてしかたがありません。ゴム長をはいてほりて古くなつた黒いズボンをはいて手拭いをぶらさげていますから、目についたら声でもかけて。下さい。お茶でもごちそうしますよ。もともとこんな格好じゃおいやかな。

(道)

VOCALIZE No.85

JOURNAL of AKC-VOCALIZE
1965. 9. 19.

月の光に

ハインリッヒ・ハイネ

月の光に海は風ぎて
私のささやく聲もひくし
心に重き愁い湧きて
古きしらべをわれは想ふ

古きしらべはわれに語る
海に沈みし古き町より
鐘と祈りのひびき鳴りて
海の底より聴こえ来たと

鐘と祈りの音 (おと) ひびくとも
沈みし町をいかで救はん
ひとたび海に沈みしものの
再び帰るときはあらじな

VOCALIZE No.85

・ ニュース	2
・ コーラス	3
・ 海水浴報告記 (安田軍二)	5
・ 十周年記念パーティーのこと	6
・ 会員インタビュー (藤野絢子)	8
・ 友へのたより (伊藤伊都子)	11
・ いづもじより (小池 扶甫)	12
・ プロファイル (伊藤伊都子)	13
・ プロファイル (小池 扶甫)	14

委員会だより

*84号インタビューの欄でも一部ふれられておりましたが、AKCヴォーカライズ創立十周年を記念して、十一月十四日(日)午後、記念パーティーを催すことになりました。今後この会を盛りたてていく、意味においても委員会ではこのパーティーを、より楽しくより盛大なものにしようとファイトをわかしています。会員の皆さまも、この趣旨をおくみとり下さいまして一人でも多くの方々に参加していただきますことをお願いする次第です。なお、詳細につきましては6頁を御覧下さい。

*委員会では、十周年記念パーティー開催にあわせて、Vocalize 十周年記念増刊号の発行を予定しております。内容は、AKC二十年史、ヴォーカライズ十年史、Vocalize 思い出の記事などを予定しておりますが、よい案、記事がありましたら、委員会までお知らせ下さい。

*85号の編集担当は佐藤隆彦くん(十七期) 〓名古屋市中村区花車町×××です。AKC演奏会の特集を予定しています。編集委員会は十月二日(土)です。デジタル復刻注 岡崎のファイルの本号は印刷状態のため、数頁の一部に読めない部分がありました。佐藤隆彦さん(十七)のファイルをお借りして読み直しました。



この欄はAKC関係者みんなのニュースを知らせ合うためのものです。だれのことでも、どんなことでも、忘れずご連絡願います。

夏のつどい 開かれる

去る八月八日(日)、ヴォーカライズ夏のつどいが、知多半島野間海岸で開かれた。

毎年夏のつどいは、静かな湖畔の森のかげでキャンプすることになっているが、今年は打ち合わせの時間のつごうで、海辺に宿をとって大いに夏の海をたのしもうというもの。しかしながら、参加者のつごうで全員が日帰りとなっていた。詳しくは5頁、海水浴報告記をご覧ください。

「十年後…」集まる

去る八月二十一日(土)夕、「十年後の会」のメンメンが、守山の若林延昌君(五期)宅に集まり、夏の宵を楽しんだ。この日顔を見せたのは、子供をおじいちゃまおばあちゃまにおつつけて来た加藤清(四期)加藤幽(五期)夫妻、水野俊彦(六期)蓉子(六期)夫妻、ダンナサマやオクサマをおいてきぼりにしてきた近

藤磨理子さん(五期)毛利豊君(五期)

Ⅱ今度はごいっしょにどうぞⅡ、十七号台風の接近に取材を気にしながらかけつけた浅井幸三君(五期)で、ヴォーカライズのオールドファンばかり。□□若林夫人の手料理に舌づつみを打ちながら、昔のこと、音楽のこと、友人のこと、ヴォーカライズのことなど話に花を咲かせた。

なお当夜は、編集部から永井充(八期)、鈴木道(十二期)がかけつけた。

十七期生も

去る七月二十七日(火)十七期の連中が、例の不二家Ⅱ古出来町の飲食店で、旭丘の生徒のほとんどが、クラブの終わった後、帰宅をひかえて腹ごしらえするところⅡに集まって雑談をしました。卒業後はじめてみた顔は一つもなかったけれど話がはずんで実に楽しいうございました。当日は、全員がひやむぎにソフトリーム。チームワークのよさをみせておりました。

なお当日集まったのは、下条、三好、中野、岡崎、小池、佐藤の六名。

◆異動

・鈴木茂君(十二期)Ⅱこのほど名古屋国際ホテルを退いて、お父さんの経営されている鳴門寿司、若園の仕事に従事される。なお新居はつぎのとおり。

名古屋市千種区×××

AKCニュース

第十七回学校祭の開催が決まった。これによると、学校祭は十月八日から十二日まで。うち文化祭は九日(土)、十日(日)で、いずれも午後AKCの演奏が行われる予定。

今年は文化祭が土・日曜とあって他からも数多くの聴衆を動員できるとみて、意欲的なプログラムを組み、準備に忙しそうである。特に日曜には外部からの聴衆が多いものにして、この日(十日)に重点をおいている。卒業生の皆様も十日には是非聴いていただきますようにとのことであつた。

なおプログラムの一部を紹介すると

・混声Ⅱ日本の作品Ⅱ風、おとなマーチ、バスの歌。Ⅱ外国の作品Ⅱマトナの君よ、この五月、Exultate

・女声ⅡSouth Pacific



7月中旬～8月下旬
到着順

内藤 毅 (十五)

近況・予定

毎日アルバイトに一生けんめい働いています。旅行の費用を出すためです。ビワ湖・四国へ八月上旬に十日余りの予定です。今年は泳いで泳いでいままっ黒になるつもり。

名前記入もれ(小池扶甫君か?)

先日祇園祭を見に行つて人を見てきた。その帰りに、大覚寺、龍安寺、仁和寺、西芳寺(苔寺)をまわってきた。やはり僕も日本人の感覚を持っていたんだなあと考えた。中でも大覚寺はよかった。

予定としてはこの休みうちに山陰・山陽をまわってくるつもり。九月に入ってから十日間合宿。大いに若さを發揮しています。

志水照代(十三)

七月の終わりに上高地に行く予定です。

梅雨が明けやらず毎日集中豪雨などの記事が新聞をにぎわしているので心配です。

長谷川 厚子(十二)

結婚後もう二ヶ月、やっと新しい生活にも慣れました。現在は早く二世が出来ないかと思っているところです。寝坊の私が毎朝五時半には目を覚ますとは我ながら驚きです。

家事に追われながら暇を見付けてレコードを聴くと、今まで気付かなかった曲の良さが分るように思います。

松沢 暢夫(六)

一ト月か二ト月毎に来るこのハガキに、欠かさず近況・予定・演説・宣伝etc.を書いていると、もう書くことがなくなりました。ということは私は相変わらずの日々を送っているということです。ユウコトナシ。

三輪 貞寛(十五)

この夏は臨海・林間実習で七月いっぱい過ぎ、八月もその整理と、混声の合宿でエライコトデス。

十月には学期末試験、合唱、それに十月七日から十月いっぱい教育実習があ

ります。教生は、昨年附小へ生きましたが、今年は北区の志賀中学になりそうです。実習は三・五週間、大いにハッスルしようと思っています。

高田 靖子(十)

七月三日、女の子の母親になりました。お乳とおむつと泣き声に毎日追われております。

永井 充(八)

七月二十五日

相手にとって不足なし。三菱電機と対戦。無念、七回コールドゲームで負け。

野球は私の人生における三分の一の生きがい。チーム結成以来九年目の「抱陽クラブ」は真の野球愛好者の集まり!兄の友人、その義弟、学校の先生、中学・高校時代の先輩後輩、近所の塗装屋、恵ベークライトの出張員、名古屋テレビの技術者、建築屋、写真屋など、平均二十五歳ぐらい。AKC関係者は鈴木茂君(十二)ががんばっています。

岡崎 美彦(十七)

・七月十八日から十二日間東北へ化石採集旅行に行った。アンモナイト、三葉虫

など「名のある」化石をガツポガツポと
ってきた。東北はさむかった。

・暑い暑い。泳ぎたい。

・AKCがNHKで3位になったって？お
めでとうございます。

・夏休みは、歌の練習がしたい、勉強が
したい、あれがしたいこれがしたい、云々
と思っていたが、この調子ではあれもで
きないこれもできない……。

佐藤隆彦（十七）

（近況）七月二十八日から三十一日まで
根の上高原での合練（名古屋地区大学合
唱連盟）のキャンプに参加。三晩の間の
睡眠時間合計七時間余。又、四日間入浴
しなかったので帰るときには垢で黒いの
か日焼けして黒いのかわからぬほど。

（予定）八月十六日から六日間、郡上八
幡にて合宿。

（宣伝）現旭丘音楽部員の方は名大に入
って名大混声へどうぞ。いいと思うよ。

伊藤伊都子（六）

先号藤井容子さんのコーラス欄に勇気
づけられました。私達五・六期生元気を
出して後輩に負けないようにガンバロ
ーネ。

公私共に元気に張りきっています。中

学、高校の子供にオバチャンと言われる
と、まだまだ若いつもりで頭にきちゃう。
でも、本当はもうオバチャンですものね。
私の気持はずっとずっと若いのです。

浅井幸三（五）

・七月下旬に三日間の夏休みをとり名古
屋の自宅へ帰りました。格別何もせず
ブラブラしているうちに終ってしま
いましたが、ふたたび取材に戻ったらカ
ンが狂って困りました。

・でも七月はいろいろな事件や企画もの
があつて、久しぶりにらしい仕事をし
ました。ときには瀬戸の記事にも目を
通してください。

・転勤辞令もなく一年たちました。そし
て三十一歳にも……。いまや瀬戸のク
ラブでも三人目の若さで、逆に三人目
の古手（勤務順で）となり、ただひと
りの独身者。幹事までおおせつかつて
ヒガンでいる毎日です。

藤井容子（六）

八月二日～五日まで気温二十度以下の
涼しい九重高原（大分県）でヤマハ音楽
教室講師の研修会がありました。全九州
から三百人の若い女性が集まり、最後の
夜はキャンプファイアを囲んでフォー

ダンスやコーラスで楽しかったです。緑
の草原の夕焼けの美しかったこと！

新沢 宏（十七）

近況 中学、高校のクラス会幹事、混声
の高校訪問、合連のキャンプなど忙し
い毎日を送っています。

宣伝 あちこちに物悲しい虫の音を聞き
ながら、日没のころの庄内川の堤を散
歩するのは実にいいですよ。

鈴木道郎（十二）

・おかわりありませんか。小生、二百万
都市名古屋の皆様の手となり足となる
べく、碎骨粉身、これサービスに努め
ております。

・演説はともかくとして、このごろ、だ
んだんハンコみたいになっていく自分
を感じます。

・初めてらしい仕事をもらったときの気
分、なんとも言えないいいものです。
でも、同じ年ごろの人で高校出の人に
は、やはり気がねしますが……。

海水浴報告記

安田軍二(十二)

恒例の夏のつどい。今年は野間海岸での海水浴になった。計画では一泊することになっていたがそれぞれ忙しいらしく、直前になって日帰りに変更された。

八月八日、新名古屋駅の改札口前に集合したのは男八人、女一名、この女性、加藤久美子さん(十五)は、男共がわいわいやつたところから少し離れて一人、本を読んでいた。女性一人ではさびしかろう。もう行くのいやだといって家へ帰ってしまうんじゃないかと男連中はやきもき。心当たりの女性二・三人に電話して呼び出そうとしたが、やつぱりだめ。それでも彼女の「じゃあ、いくだけはいくワ」に一同ホットする。

初めっから女性のことばかり書いて失礼。じゃあついでに男連中も紹介しよう。最年長が上前昌三郎君(九)。あいかわらずなにをやっているのかわからない。(失礼)横橋貞雄君(十二期)。現会長、一見たよりに

なりそうな鈴木道郎君(十二期)。日立の販売店で丁稚奉公をしている安田軍二君(十三期)。まだまだチャメツ気充分の岡崎美彦君(十七期)。浪人中で相変わらず

太れない下条豊君(十七期)。おちついたムードの長谷川一彦君(十七期)。東京で羽をのばしている三好和憲君(十七期)。名駅〇時〇分発河和行きの特急に乗る。日曜なのに幸い全員すわれる。天気はいいし、風はないし、全くの海水浴日和である。

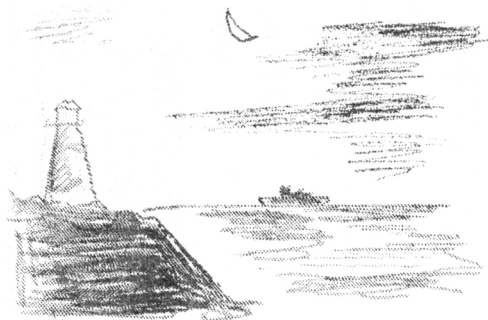
「私、水着もつてくればよかったワ」と加藤さん。海へ行くことわかっていながら持ってこないとは驚いた。「又、名駅へ集まるひとが少なくて、喫茶店あたりでダベるんだろうと思っていたんだモン」だってサ。ヤになっちゃう。

河和からの満員バスを降りて、海岸へ出る。夏の海がいい。目が痛い程ギラギラしている。砂浜のあちこちに原色のビーチパラソル立てられて、サングラスをかけた若い人達がスイカ割りに興じていたり、子どもをだいたお父さんが、ふろに入っているみたいなかっこうで水につかっていたり……。野間海岸は内海とちがって、まだ家族的な雰囲気が残っているところである。

変な方へ脱線してしまった。ともかく、我々は休憩所へ落ち着く……。やいなや「昼めしにしよう」。海へつかりの始めたが一時頃。ボートをのべ三時間(六百円)かりる。つまり泳げない人が多いということかな?でも楽しく泳げました。上前

さんは「お子様は何人ですか?ときかれてガックリしていたようですが……。帰りの満員電車の中で、大の男たちが、ああでもない、こうでもない議論している。何かと思えば、あやとりである。全くかわいいもんです。これが一時間ばかり続いたのですから大した熱のいれようです。

何しろ楽しいつどいでした。一人だけの女性、加藤久美子さんの「でも楽しかったワ」の一声でおわかりでしょう。



イギリス行きを間近にひかえた藤野さんを稽古ごとの帰り、瀬戸でつかまえた今回のインタビューとなったが、鈴木寛さんというAKCヴォーカライズも国際的になったものだ。

旭丘とは県下にとどろく名門、いや最近では週刊誌をにぎわすほどの全国的な有名をはせている。実際、実社会での若手精鋭として中堅層への足がためをして

いる人もいる。
戦後二十年！「最近の旭の生徒はつまらないなあ！」という声をふと耳にした。今の「音楽部」もつまらないのかな？よくやっているのかな？卒業した人たちはどうしているのだろうか。

いわゆる「敬老会」（十年後の会のその後の仮称 五・六期中心）のメンバーは一号室のことなど、昔話に花が咲く。楽しきよき時代だったのだろうね。

人間にとってツ若き学生時代は楽しくもあり大切なとき。そんな生活の中で、音楽することを知った。共通なよろこびを味え得る人間が集まったヴォーカライズが十周年をむかえる。若い人は常に十五才であるが、先輩たちは年をとる。三十数才ともなれば人生の折り返し点へきている。藤井容子さんのコーラス欄、サザエさんのマンガを見ているようでいつもほほえましい。84号のも絵になるよう

だ。

「たかが音楽である」しかし学生生活より、はるかに長い人生で、ゆとりのある充実した生活を味わえたらどんなにすばらしいことだろう。

AKCの卒業生は三百名はこしている。その中には専門家として活躍している人も多い。身近な一緒の学んだ人たちが、立派に演奏する。ピアノ、フルート、ヴァイオリン、ギター、ヴォリュームある歌声！美しいハーモニー！聴衆も一緒になって、こころよくリズムをきざむ。踊れる人は踊るがいい。そして全員の大合唱と盛りあがる。

お知らせ

いかがですかこんなパーティー
AKCヴォーカライズ十周年記念

場所 ・ 藤久ホテル
日時 ・ 十一月十四日（日）
・ 一時三十分受付開始
・ 二時 プログラムによる進行

会費 ・ 社会人 一五〇〇円
・ 学生 一〇〇〇円
・ 在校生 五〇〇円

なおプログラムは86号に掲載します

加藤・若林・水野各夫妻、野村。高橋昭、谷、加藤久、宮部の出席は確約ず

み。その他プログラム作成に先だって各ブロックからエントリー受付中。個人的に楽しいかくし芸を披露される方歓迎いたします。

つどいの楽しさは、与えられるものではなく、みんなでつくり出すものです。歓ぶ心を持ってください。

水野先輩に相談に行ったところ、こころよくひきうけて下さって、「百人ぐらいは集まるでしょう」とハッパをかけられました。十年にして初めてのこと。大勢の参加を期待しています。

遠方の方（北海道、九州、東京、大阪）、夫婦同伴の方、うんと会費割引します。

AKCに在籍した人たち全部に連絡する手はずになっていますが、友人、恋人、兄妹、参加者に特別制限はありませんから、お誘い合わせのうえ出席してください。ポインタロ先生、千秋先生を囲んでAKC二十年史やヴォーカライズの今後の抱負を語り合うのも一興かと思えます。ヴォーカライズには、何の規約もありません。会員の自主的な集まりです。人の心にふれあうだけのことです。先輩たち後輩たちの中に、平凡な、立派な人間性を発見できた私はしあわせものだと思っています。

楽しいパーティーとなりますように！
つどい担当 永井 充（八）

エーデルヴァイス

Edelweiss, edelweiss	may you bloom and grow
Every morning you greet me	Bloom and grow forever
Small and white, clean and bright	Edelweiss, edelweiss
You look happy to meet me	Bless my homeland forever
Blossom of snow	

EDELWEISS

The musical score is written in 6/4 time and consists of four staves. The lyrics are in English, with Japanese text above them. The first staff contains the lyrics 'E -del -weiss, e -del -weiss e-very morning you greet me'. The second staff contains 'Small and white, clean and bright you look ha -ppy to meet me,'. The third staff contains 'Blos -som of snow, May you bloom and grow Bloom and grow for -e -ver'. The fourth staff contains 'E -del -weiss, e -del -weiss, Bless my homeland for -e -ver'.

E -del -weiss, e -del -weiss e-very morning you greet me

Small and white, clean and bright you look ha -ppy to meet me,

Blos -som of snow, May you bloom and grow Bloom and grow for -e -ver

E -del -weiss, e -del -weiss, Bless my homeland for -e -ver

会員インタビュー ⑨

藤野 絢さん（十三期）に きく

渡英、結婚、ヴォーカライズのことなど

音楽家の多いヴォーカライズのことだ。そのうちだれかが海外留学することだろうと予測していた人も多からう。ところが意外にも音楽にはあまり関係がない（と思う）藤野さんがイギリスへ渡るというドエライ情報が入ってきた。「うらやましい」「ヴォーカライズ海外支局の誕生だ」と騒ぐ委員たちが、黙っていろいろわけはない。さっそくつかまえてインタビューを試みるようになった。

実は藤野さんがインタビューに登場するのはこれで二度目だ。でも最初のときは新就職の三女子社員にきく趣向だったから、こんどの企画も許してもらえらるう。

八月二十九日夜、瀬戸市の繁華街にある中日新聞支局に落ち合った面々は、いつものとおり脱線の連続。食事をしながらやると速記者は損をするーとごきげんなための長老をごまかすのだから、若手の編集委員の腕もおそろしく上達したものである。

（昭和四十年八月二十九日夜、瀬戸「キッチンいさ美」で）

きき手 伊藤真知子（十四）
写 眞 安田 軍二（十三）
記事 浅井 幸三（五）

藤野 絢さん（十三期）

振甫中学をおえて旭丘へ入学。

音楽部では表面に出る役員などにはあまりならなかったが、陰の功労者として大活躍。昭和三十六年旭丘を卒業して旭可鍛に入社、大和ハウスに勤めを変わり、その後勤めをやめ現在に至る。その間、洋裁や仏語などを勉強。

「イギリスへはメードとして」

ー毎週、瀬戸へ来ているそうですけど。一体何を教えるに通っているんです。

藤野 だれ変なことといったの。遊び半分に教会へフランス語習いにきてるのよ。

ーフランス語習っているというのは、フランスへ行くってこと？

藤野 ほんとうはフランスへ行きたかった。何か目的を持って一度は行きたいわね。でもフランスはイギリスの帰りに行くの。一年半は一応メードでしょう。

ーイギリスへ行くと英語ペラペラになるわね。

藤野 さあ、どうかしら。いわゆる学校で習った英語とは全然違うわね。発音が。でも、身近に日本人がいるからだめかしら。おばさま全然できないでしょう。

ーイギリスってどこへ行くの。

藤野 ロンドン。（ロンドンの上の方、下の方、右か左かと地図しか見たことがない連中が騒ぎ出す）おじが四月から行っているの、連れていってくれといって頼んだの。メードにしてちょうだいってね。そうしたらおばさまも行くといひ出して…。

ー私のところもそういうおじさんがほしいな。一体いつ行くの？

藤野 十月でしょう。（八月）三十一日に東京へ行きますから、それでわかると思うけど、九月三日に船で荷物を送り、パスポートを取って飛行機で行くの。ほ

んとうはシベリヤ鉄道で行きたい。おもしろいんだってよ。モスクワもこういうときじゃなきゃ見られないし、それに安い。十万円でもいいんだって。

・「わあ、いっぺんに夢ができたわ。十万円くらいなら、なんとかなりそうね」と伊藤さんがはしゃぐ。

「変な『おめでとう』」

ーだけど、藤野さんって十三期で一番早く結婚しそうだといううわさだったのに、そちらのほうはどうなったの。

藤野 「Vocalize」の新年号にそういつて書かれたのはショックだったわ。高校出て、会う人ごとにいわれるの。あのとさも増田礼さんが電話かけてきたのよ、「おめでとう」という。ちようど私の誕生日だったのだからありがたいでしょう。よく聞いたら結婚のことだっていうの。あのころ、ヴォーカライズから離れていたでしょう。だからこういうことになるのだと思って、一生懸命寄稿なんかして、またヴォーカライズへ戻った。あれ以来一種の恐怖観念があるから。でも、だれが言い出したのかしら。

ー早く会社はやめるし、やることも花嫁修業みたいだし、なにかそんなふんいきがあつたよ。

藤野 母に何かいったんでしようといわれるし、ほんとうにいやだった。

ー帰ってきてから予定があるでしょう。

藤野 さあ、どうでしょう。

ーそれとも向こうでいい人みつめちゃうのかな。

藤野 それはだめ。母にへたなことをしないでちようだいと約束させられている。私だって日本人が一番好きよ。

・「うまいことをいう。やっぱり国際的交手腕がある」と男性編集部員が一樣に感心する。

「私は外向きの女性」

ー藤野さん、卒業以来あちこちいつてみたでしょう。

藤野 経歴は簡単よ。一年半ぐらい旭可鍛と大和ハウスに勤めて、一年は洋裁へ行ったり、その間に東京へ行ったり大阪へ行ったり…。

ーやりたいことをどんどんやる人ね。

藤野 うちの母がね、私がときどき軽くこうしたいなというとき、それがいいことだと思ふとこつちの意思も考えずにそのようにしてしまう。お金のかかるものだったらそうはできない。

ーでも藤野さんって地味なものが好きね。

・「そうだ、そうだ」と意見が一致して、まあビールでも飲みなさいというところから断られて…。

藤野 前は強かったのよ。でもいまは全然だめ。ちよつと病氣したからじゃないかな。これが原因で病氣しちゃった。忙しかったでしょう。昼間はあつちこつち出て暇がないの。夜おそく飲んでいてからだをこわしてしまった。私ってすごく外向きなね。こんど一週間病氣でうちにいたでしょう。落ちつかないのね。結婚したら、私、一日うちで寝てるわ。それを夢みて、いまやってるの。ということは何をとったせいね。

ー最近ダンスはどうなったの。

藤野 全然です。でもまたやりたい。一番はじめにおじさんにダンスできるかと聞かれたの。うんA級を取って、なんて大きなことってね。じゃ、あつち行ってからいっぺんぐらいはパーティーに

連れていつてやるといわれた。

「あちこち土地を回っているから、こんども平気ね。」

藤野 回っているといっても近くばかりよ。やっぱりこわい。親もとから離れるのはこんどがはじめてでしょう。いま町を歩いていてよく外人なんか歩いていると、じつと見たりするじゃない。こんどあっちへ行つて、自分がああいふうに見られるんだと思うと、いやな感じ。それも私が小さいでしょう。日本では見上げるけど向こうでは見おろされるもの。

「メイドさんなら料理もするのね。」

藤野 おばさまも行くから、私はどつちかというとへやそうじ。イタリアの料理が一番おいしいんだっていうけど、だめですって。一番おいしいのがインスタントラーメンなんだって。あっちのお水に合うのね。

・「殿様ラーメンたくさん持っていいたらいいじゃない」の声に彼女も「私は長崎タンメンの方が好き」と、食べることになるがぜんみんな元気になる。速記者が「コマーシャルはだめだよ。民放じゃないから」と止めにはいる。どうも損な役回りだ。

「ヴォーカライズはとても楽しみ」

「ヴォーカライズのロンドン支局つてわけね。これまでのヴォーカライズどう思う。」

藤野 悪かったのはそのとき（結婚予想のニュース）の一件だけ。あとはいつも悪いなと思いつながら楽しみに読んでいた、手伝いしないから。あれだけは送ってください。お願いします。

・ここでまたもや委員連のグチが出る。会費の集りが悪いのでその対策として、集金に必要とする交通費の倍額を追徴金に取ろうとまとまりかけたなら、藤野さんはあわてて会費を払った。そうでしょう。ロンドンまでの往復飛行機賃五十万円近くの倍を課されたらあがつたりだもの。会計の伊藤さんは、その三百円を最後まで大事に手の中に入れていた。この熱心さがヴォーカライズをささえているのだ。



委員会誌

九月十九日（日）

永井 充（八）

先週（十二日）発刊予定であったのが、鈴木会長欠席のため、めずらしく集った顔ぶれⅡ林（十三）磯貝（十五）小池（十七）小出（十八）も肩すかし。

十周年記念行事のこともあって、今日は、新顔来参で会長・副会長も元気が出る。

水野先輩（六期）の伴奏をひきうけさせられ、加藤久美子さん（十五期）はもっぱらレコードをかきまわして、みんなのためにバックグラウンドミュージックの係。

フォークダンス担当の津坂絢子さん（十五期）は封筒の宛名書き、上前先生（九期）は印刷、（今回のよみづらいところはそのせいです。）近くの公園へ行つてキャッチボール。野球の方はテスト合格で「抱陽クラブ」にスカウト成功。横橋君（十二期）が安田君の電話につられてやって来る。食べるだけ食べ、逃げようとするところをひつつかまえ、藤久での司会をおおせつけて放免する。

六期生の皆様へ

伊藤伊都子（六期）

友へのたよりの第一号として私に書くように任じられ、これまで、あまりヴォーカライズに協力的でなかっただけに、なんだかおもはゆいような気になりましたが、皆様のおたよりを読んでいて、いろいろとなつかしく思い出されて来ました。

一番たのしく思い出されることといえ、やはり、学生時代のことではないでしょうか。数多くある思い出の中から、同期生である六期の皆様にいなくなしくお便りしたいと思います、まず、現在の私の状況から説明しますと、旭丘を無事卒業してなんとなく就職し、結婚して一児の母となつて平凡に名古屋の真中、松坂屋の南の矢場町の市営住宅のスラム街に住んでいます。この住宅も、もうすぐ十一階建てのアパートになり、すぐ西側には地下鉄が通りとても便利の良い所です。家庭に入ってから、あまり音楽に接する機会が少なく、もっぱら子供とお

歌を唱つてはたのしんでいます。

昔の旭丘の音楽室、クラブ室の様子が走馬灯のようにかけめぐります。○一で同じクラスであつた原まき子さん、増田容子さん（現在、原さんは大津賀さん、増田さんは藤井さんⅡ編集部）、原さんは高蔵寺から汽車にゆられ、時には汽車の事故で遅刻され、増田さんとはクラブ活動で、帰りの遅くなった時など兵器所のコンクリート壁の間の道急いで帰つたものですね。今では兵器所の跡もすばらしい団地になり、バスも通り、昔のさみしい面影は全然なくなりました。

それから、クラブ室ではワイワイガヤガヤ小さな部室は、人でイッパイ、小さな体の私でも、もう入るすき間もないくらい。その小さな部室で恋が芽ばえ、後輩連からもいくつかのカップルが出たと想像してます。

六期の皆様も、遠く名古屋から離れていても、いつもヴォーカライズでお元氣な姿を連想して、一人一人の顔を思い出しています。原さん、お元氣になられましたか。六期の皆様もお元氣でね。つまらないことばかりかいてごめんなさい。

告知板

〔住所変更〕

川村明子さん（十三期）

春日井市東野町×××

安田軍二さん（十三期）

埼玉県北足立郡新座町×××

藤野 絢さん（十三期）

London, Japan Chip Centre,

×××

〔会計報告〕

会費納入者

鈴木（六） 安田（十三） 上田（十三）

藤野（十三） 鈴木（十七） 近藤（十三）

寺田（八）

本来ならば領収書をさしあげるべきですが、ここに名前を記載して、それに代えさせていただきます。

・会費未納者が多いため、委員は頭をいためています。未納者の家を個別訪問し、出発からそこ迄にかかった車代の倍額をいただくか、それとも、一年未納したら会員の権利をとりあげようか、会員の□□□□（最終行数文字不明）

いづもじより

小池 扶甫（十七期）

八月二十日に名古屋をたつて五日目、この日で旅の半分までがすぎようとしています。

前日は出雲大社で参拝すべきことをお願いして、この日はウミネコがいるといわれる日御碕（ひのみさき）をまわって立久恵（たちくえ）峡と三瓶（さんべ）山へ行きました。立久恵峡は出雲駅からバスで三十分ぐらい、そこからすぐにつり橋があった。つり橋はやはり見るべきもので渡ってみてあまり心地のよいものではない、そこから兩岸のいろいろな岩を見てまわり行きつめた所にまたつり橋があった。ここは春秋の他雪景色もきれいとあるが結局夏が一番よくない時らしい。

立久恵峡からまた出雲駅へもどって標高一二六メートルの三瓶山へ向かう。山陰本線石見大田駅から定の松というところまでバス。ここには男三瓶、女三瓶、孫三瓶、子三瓶という山々が環状に火口をかこんでいる。荷物を全部駅に預けてすばらしいながめだなあなんて登って行ってしまつて、水筒まで持つて行くのを

忘れてしまった。これは本当に不覚でした。

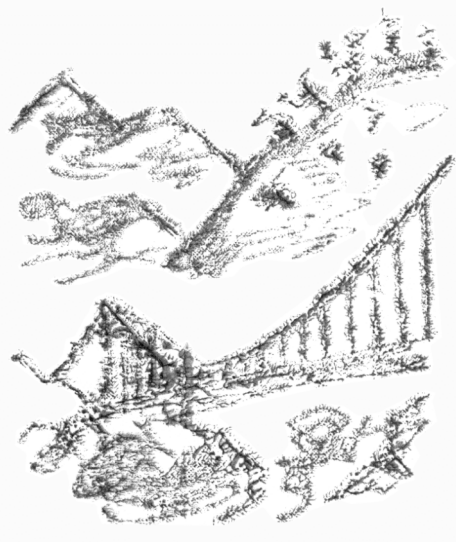
パンフレットに、「木陰がないので夏はつらいが展望はすばらしい」とあるが、なるほどその通り。展望はまことにけつこう。しかし、太陽がカッカツと照る所を登るんですから暑いなんのつて。汗かきの僕だからよいでした。「三十度近い傾斜のまっすぐな稜線をジグザグ登る」と書いてあり、「ハテまっすぐジグザグとはどうやって登るのか？」なんて思ったりしました。ふもとに着いて登りかけたのが午後三時頃、山頂に着いてほつと息をついたのがほぼ五時。ここは冬にスキーもできるとあって本当にきれいにスラリとしていて気持ちがよくつた。火口には水があつてそれがまたさえていました。時間があつたら四山ともまわってこようと思つたんだけど今はそれもできず、しかたなしに隣の子三瓶から下つてきました。しかしこれがまた大変なものでした。道をまちがえたのか、人間がまともに歩けるような所じやない所を通つてきちゃつて、尻をつけてズルズルとすべったり、草の根にぶらさがつてきたりでそれは大変でした。でもちゃんと目標は見えてましたから、そこへ行きさえすればと思つて心丈夫でした。このように定の松に着いた時はほぼ七時近く、足は

ガクガク、のどはカラカラ、体はクタクタでした。

さて、それから大田駅で一応人間らしく思えるようになるまで水を飲み、食事をして、それから宿へ。本当は浜田の近くにあるユースホテルに泊まるつもりだったんですが、なにしろ浜田駅に着いたのが夜の十時半、それから電話をかけてみたが今日は満員ですといつて断られちゃつた。仕方なく相棒と二人で駅で寝ようかなと思つたんだけど何しろこちらはそういう所で寝るのは初めてなもんですから、何とかならないかと考えたあげく思いついたのが汽車に乗つて行つてまたもどつてくる事。幸い国鉄乗車券が均一周遊券だったので、こんなこともできました。でもあまり汽車の中ではねられませんでした。何しろ山陰線下り浜田発が二十三時五十分、東萩着が二時四分、上りで同駅発が二時十九分、そこから浜田まで一停車場東の下府（しもこう）まで行つて、その朝その近くの石見畳が浦へいったんだから、たいしたもんだと自分でも思います。

これから後の旅は萩、下関、秋芳洞、宮島等を通つて□□□、倉敷の大原美術館へ行つて鷺羽山・姫路を回つて全部で

十一日間の旅をするつもりです。
八月二十五日 下関にて



お詫びと訂正

*85号は九月四日の発行予定でしたが、つごうで遅れましたことをお詫びします。
*84号のAKCニュース欄で、「三十七年度以来三度目：」とありましたが「三十六年度以来四度目：」の誤りでしたので訂正します。
*84号プロフィール富田香代さんの文中、「金城短大……」とありましたが、金城大学……の、また「さいこうせいしゅくん」の山本一良君は「やまもといちろう」の読みでしたのでお詫びして訂正します。

プロフィール

伊藤伊都子さん

旧姓世古（六期）

面長の美人型 いまは幸福そう

いとういつこ

ピアノが好きで好きでしかたがない、といった感じの彼女は、一号室でも、音楽室でもよく練習している姿が見られました。特に得意の「つむぎ歌」は、五・六期の方なら今でも耳に残っていると思います。オクターブすれすれの小さい手で弾いていらつしやいましたね。

色白の面長の美人型なので、一見おとなしそうに見えますが、なかなかどうして、とても朗らかで誰とでも気軽にしゃべりする、社交家です。そうそう彼女は、何でも本気にしてすぐにおこるので皆によくからかわれていたものでした。ごめんなさい。でもそのおこり方にとっても魅力のある方です。

卒業してからずっと音信不通だった彼女二、十年ぶりぐらいにバツタリ栄町でお会いしました。以前より少しスマートになり眼鏡をかけていらつしやったので、もう少しでわからずじまいだったかも知れません。お話の様子からとてもおしあわせそうでした。

今は坊やがありながら、またお勤めを

していらつしやるとか、ただただ感謝しております。
(Y)



栄町金山線の道路にかかるとかで、荒れ放だいのブラック事務所。電話の受継ぎや客の応対で忙しそうな伊都子先生。まだまだ若々しさでいっぱい（失礼！）じっとしていることのできない人なのかな。リスのように活動的なのかな。アパートが目と鼻の先なので、坊やが時々遊びに来るらしい。今日は、二つ合わせた腰かけのベッドでお昼寝中、邪魔してしまった。伊都子母さんがいないときは、おばあちゃんが遊び相手とか。あまり、おばあちゃんが育った方がいいですね。そんな気がしました。
(M)

プロフィール

こいけ
小池もとまさ
扶甫くん
(十七期)

十七期の小池扶甫君を御紹介します。

彼は、十七期生のうち技術的にしつかりとしていた一人で、同じテナーであった私の音程の狂いや発声などに良きアドヴァイスを与えてくれましたし、二年のときには常任指揮者の一人として活躍しました。私たちがAKCに在籍中に、テナーが一番うまい(?)と言われていたのは彼の努力にもよるところが多いようです。また、彼はAKCの練習にはマジメに出席しましたし、テナーをよくまとめて、AKCの向上によく働いてくれたと思います。

彼は、中学校のクラブでもコーラスをしていたことから知れるように、大の音楽好きであるようです。また、なかなかユーモアがあつて人をしばしば笑わせたりします。そしてクラブ対抗のときなどには選手の一員として水泳、バレーボール、ソフトボールなどにハッスルしてAKCの部員の体格の向上にも大いに貢献してくれました。



るように思われ、もつと自信をもつてほしいと思ったこともしばしばあったのは残念に思います。

現在は名工大の男声合唱に入っているとのこと、最近彼に会ったのは五月下旬の名大祭のときで、練習が遅くまでかかることばっていました。新しい団でがんばっているようです。

私達十七期生は第十五回学校祭の発表内容はかなり充実させたと自負していますし、第一回AKC演奏会をもつなど数々の活動を通じて、不十分ではあるがAKCの活動としての模範を示し得たのではなからうかと私は思います。その中で彼は実によく頑張ってくれたと思います。

最後に「シンちゃん」の今後の働き、特にヴォーカライズでの活躍を期待して筆をおきます。

(T・S)

Invention

皆様のお宅では被害はありませんでしたか。一週間ごとに台風にやってこられてはたまったものではないかもしれません。まずは、御見舞申し上げます。

伊勢湾台風後、妙に警戒心が強くなつて、24号のときなど、こちらの予定よりも五時間も早く警報が出て大騒ぎをしていたのに、サリと体かわされてしまつて拍子抜け(?)してしまいました。ホツとひと息ついて帰宅したのが十八日午前二時、インスタントレーメンをすすつてから眠りましたが昼間現場で眠かつたこと。台風にはあまり来ていただかない方がいいですね。

一日に千ミリも降つたり、降つて二時間も経ったら全部流れ出してしまう地質、地形、気象は僕らではなんともならないものでしょうか。たとえば。地下にダムをつくつて流出を調整するとか、木曽三川と琵琶湖をトンネルで結んで余分な水はあちらに流すとか。地下ダムだつて、今の土木技術からすればなんでもないことだし、トンネルの件だつて、近畿地方の水資源開発の点からも考えられないことではないのです。ただ今度のように、被害の出る前にこれらのことがなされていたなら、まだなんとかなつていたと思うのですが……。